

寄せられた意見

No. 78

受付日	H17. 11. 13	年齢		居住 市町村名	下川町
件名	町内の環境活動				

天塩川流域委員会 御中 平成17年11月13日
下川町 [黒塗り]

町内の環境活動

サニルダムは下川町内で建設され、サニルダムの流域も全て下川町内である。まさに、地元は下川町のダムであると認識しております。

下川町は森林の町として再生可能な森林の整備を考えています。親が植えたものを子や孫が木杵にする。さらにまた、植木杵をする。という世代を超えた交流を目指しています。

9月10日には、サニルダム建設事業所さんがダム湖周辺の森作りを下川町民に広く呼びかけ、毎年行っている植樹会に150人もの積極的な町民があつまっています。

サニルダム事業で行われている植樹事業も森林の町下川にマッチしたものだと思います。

一方、新聞によれば、我々が植樹をしている同じときに、数人の町民が数十人の外来者とともに、サニル川に数多く生息しているヤマベを天婦羅にして堪能した後、そのヤマベの親のサクラマスを観察したとのことでした。

ヤマベの天婦羅を食べたリ、マスを見るのが悪いとは思いませんが、環境のために汗をかいているのは植樹をして我々だと思えます。

10月7日には、下川町役場が行く21世紀森呼吸の森林への植樹会に行ってきました。

サニルダムの職員さんも多数参加してくれていました。職員の皆さんは下川が森林の町であることも理解してくれており、同じ思いしているのだと感じています。

具体的な環境活動を行っているのは地元の人間です。外来者が来て、町民の案内でサニル川を見学したという新聞記事を時々目にしますが、外来者が具体的に環境活動をしているというのは聞いたことがありません。

※ [黒塗り] 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています